

(案)

第六次国有林野施業実施計画書

(安芸森林計画区)

計画期間	自	令和 5 年 4 月 1 日
	至	令和 10 年 3 月 31 日

四国森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	4
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	12
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	14
(1)	保護林の名称及び区域	14
(2)	緑の回廊の名称及び区域	15
6	樹木採取区の名称、所在地及び面積	15
7	レクリエーションの森の名称及び区域	16
8	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	16
9	その他必要な事項	17
(1)	施業指標林、試験地等	17
(2)	文化財資源備蓄林	19
(3)	フィールドの提供	20
(4)	森林共同施業団地	21
(5)	その他	21

※ 本計画書内の集計表に関して共通する注釈
単位未満四捨五入により、計と内訳が一致しない場合がある。

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施 業 群		林地面積	取扱いの内容	伐期齢
施 業 群	スギ分散伐区	1,010	育成単層林施業 概ね5ha以下	45年
	ヒノキ分散伐区	747	〃 〃	50年
	スギ長伐期	6,602	〃 〃	130年
	ヒノキ長伐期	4,170	〃 〃	100年
	ヤナセスギ長伐期	3,828	〃 〃	200年
	天然ヤナセスギ択伐	473	育成複層林施業	200年
	天然ヤナセスギ 長伐期複層林	412	〃 概ね10ha以下	200年
	複層林	1,399	〃	80年
	スギ長伐期複層林	1,903	〃	130年
	ヒノキ長伐期複層林	343	〃	100年
	その他複層林	4	〃 択伐	定めない
	択伐	2,090	天然生林施業	定めない
	ぼう芽分散伐区	135	育成単層林施業 概ね5ha以下	15年
	施業群設定外	274		
合 計		23,388		

注：施業群設定外は試験地等である。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群分類	上限伐採面積	備考
通常伐期施業	232	スギ分散伐区、ヒノキ分散伐区、ぼう芽分散伐区
長伐期施業	558	スギ長伐期、ヒノキ長伐期、ヤナセスギ長伐期
複層林施業	356	複層林、スギ長伐期複層林、ヒノキ長伐期複層林
天然林・その他施業	定めない	その他複層林、択伐

注：契約に基づいて主伐を実施する分収林については、水源涵養機能の発揮に支障がない限り、箇所ごとの伐採面積の合計が上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時 伐採量	計		
山地災害防止タイプ		—	13,313 (90)	13,313				
自然維持タイプ		—	932 (8)	932				
森林空間利用タイプ		—	—	—				
快適環境形成タイプ		—	—	—				
水源 涵養 タイプ	スギ分散伐区	21,851	—	21,851				
	ヒノキ分散伐区	70,172	3,332 (23)	73,504				
	スギ長伐期	—	298,263 (2,236)	298,263				
	ヒノキ長伐期	—	72,460 (713)	72,460				
	ヤナセスギ長伐期	—	187,318 (1,363)	187,318				
	複層林	31,330	15,194 (112)	46,524				
	スギ長伐期複層林	24,934	29,490 (220)	54,424				
	ヒノキ長伐期複層林	2,877	9,012 (96)	11,889				
	その他複層林	—	—	—				
	天然ヤナセスギ 長伐期複層林	—	—	—				
	天然ヤナセスギ択伐	—	—	—				
	択伐	—	55 (2)	55				
	ぼう芽分散伐区	—	—	—				
	施業群設定外	—	4,103 (24)	4,103				
	計	151,164	619,227 (4,789)	770,391				
合 計		151,164	633,472 (4,887)	784,636	40,454	825,090	—	825,090
年 平 均		30,233	126,694 (977)	156,927	8,091	165,018	—	165,018

注：（ ）は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
安芸市	34,455	54,479	88,934				
安田町	—	895	895				
室戸市	7,787	34,794	42,581				
東洋町	12,430	7,947	20,377				
奈半利町	6,921	5,441	12,362				
馬路村	22,875	251,237	274,112				
北川村	66,696	278,679	345,375				
計	151,164	633,472	784,636				

注：臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 タイプ°	合 計
人 工 造 林	単層林造成	—	—	—	—	166	166
	複層林造成	—	—	—	—	131	131
	計	—	—	—	—	297	297
天 然 更 新	天然下種第1	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2	—	—	—	—	38	38
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	38	38
合 計		—	—	—	—	335	335

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 タイプ°	合 計
保 育	下 刈	52	—	—	—	764	816
	つる切	1	—	—	—	8	9
	除 伐	8	—	—	—	136	143
	計	60	—	—	—	908	968

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長 (m)	備 考
基幹	開設	グドウジ谷	1117、1120	447	
		基幹計	1 箇所	447	
その他		長滝	2217、2218	1,500	
その他計		1 箇所	1,500		
開 設 計			2 箇所	1,947	
基幹	改良	張川	43、44、50、51、 民有林内	1,000	
		西の川	36、37、民有林内	1,000	
		美舞谷	32～35、37	1,000	
		伊尾木	25～27、民有林内	300	
		久々場	45、46、民有林内	300	
		横荒	17～21、民有林内	1,000	
		加勝	10～17、民有林内	1,000	
		裏正	7～9、民有林内	1,000	
		河又	3、5	500	
		猿押	1、2	2,500	
		須川	1015～1026、 民有林内	1,000	
		野川	1026～1031、1034、 1036～1040、 民有林内	2,000	
		春ヶ谷	1043～1045、1047、 民有林内	1,000	
		蛇谷	1103～1111、1113	2,000	
		蛇谷大道	1107、1109～1112、 1114	1,000	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長 (m)	備 考
基幹	改良	グドウジ谷	1115～1117、1119、 1120	1,000	
		竹屋敷	1135、1140～1142、 1147～1150、 民有林内	1,500	
		つつじお	1137～1138、 民有林内	200	
		笹谷	1141～1144	500	
		曲り谷	1146、民有林内	1,000	
		影地	1130、1131	500	
		笠木	1122～1124	500	
		矢筈	1124、1125、1127、 1128	1,000	
		桑の木	1155、1156、1159	200	
		大谷	2005～2007、 民有林内	1,000	
		谷山	2090～2092、2094、 民有林内	500	
		亀谷	民有林内	500	
		北亀谷	2018、2021、2023、 民有林内	1,000	
		北亀谷 20 線	2020、2021	500	
		東川	2026～2029、2036～ 2042	1,000	
		中川	2054～2056、2059、 2067～2074、 民有林内	2,000	
		和田山	2098～2104、2106	1,000	
		西川	2117～2121、2126～ 2128	1,000	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長 (m)	備 考
基幹	改良	西川・125 線	2124、2125	200	
		二の谷	2107、2108、2110	700	
		赤度	2128～2131	500	
		安田川山	2215～2217、2220、 2223～2227、 民有林内	3,000	
		河平	2209、2211、2212、 民有林内	300	
		基幹計	38 箇所	36,200	
その他	改良	張川・52 支線	52、民有林内	200	
		仙谷	40～42、49、50、 民有林内	500	
		仙谷 38	38、48、49	200	
		西の川	37	300	
		美舞谷	32、33	300	
		伊尾木	民有林内	200	
		河又 3 支線	3	100	
		猿押	2	500	
		猿押・2 支線	2	100	
		須川 14	1014～1016	200	
		須川・20 支線	1019、1020	200	
		野川・34 支線	1034、1036～1039	200	
		野川・40 支線	1029～1031	200	
		池の川原	1023～1027、1037	500	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長 (m)	備 考
その他	改良	西谷	1006～1009、1012	1,000	
		西谷 11	1008、1009	300	
		西谷 8	1008	200	
		後口山	1002～1005	300	
		後口山支線	1004、1005	300	
		落合	1044、1046～1048	500	
		普当山	1111	500	
		土ヶ尾	1103	500	
		竹屋敷	1135、1140～1142、 1144、1145、民有林内	1,000	
		柁ノ木	1151、1152	500	
		熊剥	1148	500	
		竹屋敷 154	1150、1154	300	
		矢筈	1124	500	
		栃谷	2075～2080	1,000	
		久木	2083	200	
		別役	1171～1174、 民有林内	300	
		別役・稲木線	1166～1169、 民有林内	300	
		段	1157、1160～1162、 民有林内	300	
		大道南	1163、1164	500	
		明膳	2089	300	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長 (m)	備 考
その他	改良	北平	2093、2095、2097	300	
		亀谷	2014～2017	400	
		亀谷・14 線	2014～2015	200	
		北亀谷	2021、2022	200	
		大戸山 28	2027、2028	400	
		雁巻	2029～2033、2035	700	
		影地山	2045、2046	300	
		影地山・46 線	2046、2047	100	
		柴木屋	2038	100	
		東川・50 線	2043	200	
		小屋敷	2052～2054	300	
		小屋敷・52 線	2052	100	
		宝蔵山	2118～2122	500	
		赤度・130 線	2130、2131	200	
		西又東又	2127～2129	600	
		汗谷	2057～2060	300	
		槇の谷	2238、2239、2241、 2242、民有林内	300	
		長滝	2216～2218	300	
		北栃谷	2232、2235	500	
		神山	2227～2230	800	
		神山・230 線	2230	100	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林班)	延 長 (m)	備 考
その他	改良	奥安	2224、2225	500	
		七々川	2205、2206	300	
		七々川・205 線	2205、民有林内	100	
		猿押	2244	500	
		その他計	59 箇所	21, 300	
改 良 計			97 箇所	57, 500	
合 計			99 箇所	59, 447	

4 治山に関する事項

位 置（林班）	区 分	工 種	計 画 量
1、2、3、10、11、12、13、14、15、16、17、 19、31、34、35、36、37、1005、1018、 1020、1022、1024、1025、1026、1027、 1102、1105、1107、1112、1115、1123、 1132、2009、2012、2019、2020、2023、 2034、2052、2053、2078、2079、2080、 2083、2095、2124、2224、2227、2228、 2230、2234、2235、2240	保安林の整備	その他 （森林整備）	656.78ha
[1～2][3～5][7～9][10～11][12～15][16～ 24] [25～30][32～39][1001～1005][1014～1020] [1021～1031、1034～1040][1043～1047] [1101～1114][1115～1120][1121～1128] [1129～1132][1146～1154][2014～2017] [2018～2023][2029～2035][2036～2050] [2051～2053][2054～2060] [2061～2064、2067～2074] [2083～2086][2087～2090][2091～2097] [2107～2110][2120～2128][2201～2203] [2209～2214][2220～2231]	保全施設	溪間工	32 箇所
[3～5][7～9][10～11][12～15][25～30] [32～39][1014～1020] [1021～1031、1034～1040][1101～1114] [1115～1120][1121～1128][1129～1032] [1146～1154][2014～2017][2018～2023] [2024～2028][2029～2035][2036～2050] [2051～2053][2061～2064、2067～2074] [2087～2090][2107～2110][2120～2128] [2220～2231]		山腹工	24 箇所 (9.31ha)
合 計	保安林の整備	その他	656.78ha
	保全施設	溪間工	32 箇所
		山腹工	24 箇所
		計	33 箇所

注1：林班[]の区分は、事業評価の地区単位。

注2：保全施設の計は、溪間工・山腹工が重複する箇所は1箇所として集計した。

注3：災害復旧等緊急を要する場合には、計画箇所以外においても実行可能。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	新・既	面積 (ha)	位 置 (林小班)	特徴等
希少個体 群保護林	せんぽんやま 千本山天然 ヤナセスギ (遺伝資源)	既	178.83	2067 に、ぬ 2112 へ 2113 い 2114 い、へ	樹齢 200～300 年の天然ヤナセ スギを主体とする林分であり、 天然ヤナセスギの遺伝資源を保 護。
	せんぽんやま 千本山人工 ヤナセスギ ・ヒノキ (遺伝資源)	既	23.90	2112 ろ	大正 11 年に植林されたスギ・ヒ ノキの人工林であり、隣接する 天然ヤナセスギと比較しながら、 ヤナセスギの造成技術の発 展と遺伝資源の継承を図る。
	がんまきやま 雁巻山 ヤナセスギ (遺伝資源)	既	20.98	2031 ろ	樹齢 200～300 年の天然ヤナセ スギを主体とする林分であり、 天然ヤナセスギの遺伝資源を保 護。
	にしのかうやま 西ノ川山 トガサワラ (遺伝資源)	既	7.88	35 ろ	紀伊半島と安芸地方にのみ自生 する希少な樹種であるトガサワ ラの遺伝資源を保護。
	やなせ 魚梁瀬 トガサワラ (遺伝資源)	既	16.02	2065 ほ	
	やすだごうやま 安田川山 トガサワラ (遺伝資源)	既	4.31	2227 へ	
	よこあれやま 横荒山 モミ・ツガ (遺伝資源)	既	81.20	18 い	地域的にまとまって生育してい るモミ・ツガの遺伝資源を保護。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	新 ・ 既	延長 (km)	面積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
四 国 山 地 緑 の 回 廊 ・ 剣 山 地 区	既	8	1,337.20	19～21 全 22 ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、 る、わ 23 ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ、 る、わ、か、よ、た、れ 28 ろ 29 ろ 30 は 2065 い、ろ、は、に 2066 全 2067 い、ろ、は、ほ、へ、と、ち、り 2111 全 2112 い、は、に、ほ、と 2113 い1 2117～2119 全 2124 全 2125 全	四国の脊梁に位置する 剣山を中心として、東 西及び南方面へのびる 国有林野において、千 本山天然ヤナセスギ (遺伝資源) 希少個体 群保護林等の保護林を 連結することにより、 森林の連続性を確保 し、貴重な野生生物の 移動経路を確保し生育 ・生息地の拡大と相互 交流を促すことを目的 として設定。

6 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし。

7 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
風景林	せんぼんやま 千本山	既設	110.98	2098 い、い 1、 2100 は、2101 ろ、 2111 に、 2112 ほ、と	天然杉を 主体とする 森 林 美。	育成複 層林施 業	木製歩道、 便所 (馬路村)		
				2099 は、2100 に、 2101 は、イ、 2113 い 1		天 然 生 林施業			
	のねやま 野根山 かいどう 街道	既設	157.37	1020 は 1～は 4、 1021 ろ、1022 ほ、 1023 は、1024 へ 1027 へ 2、ぬ 1028 り、 1029 へ、わ、 1030 は、1105 ち、 1106 は、1107 に、 1109 は、1110 は、 1112 ほ、ほ 1、 1114 は、1117 ろ、 1120 ほ、1132 は、 1159 に 1、 1163 ろ、 1164 ほ 1、ほ 2	土佐藩の 参勤交代 路として 利用した 街道で道 中に関所 跡等数々 の名所、 史跡、伝 説などが ありハイ キングコ ースとし て最適で ある。	育成複 層林施 業	休憩舎 3 箇 所 便所 東屋(県)		
				1106 に、1120 に、 1126 と、1128 は、 1159 は、に 2、 1161 に、1162 ろ、 1165 へ、1168 は、 1169 ほ、 1170 は、に		天 然 生 林施業			

8 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし。

9 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設 定 年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施 業 指 標 林	野川山複層林	平成 4 年	3. 75	1029 と 1、と 2	複層林施業の推進及び技術の普及を図るための指標とする。
	和田山択伐	昭和 43 年	44. 53	2099 い 1～い 6	ヤナセ天然スギを主体とした択伐施業体系の指標とする。
		昭和 43 年	39. 15	2099 ろ 1、ろ 2	
試 験 地	千本山天然更新	大正 14 年	2. 12	2065 は	スギを主とする択伐林に誘導する。
	小屋敷山天然更新	大正 14 年	5. 64	2054 は、2055 に	
	一の谷山スギ人工林収穫	昭和 34 年	1. 40	2100 ろ	現在あるいは、将来予想される施業方法によって施業した場合の成長量及びその他の統計資料を収集するとともに、林分構造の推移を解明する。
	西又東又山スギ人工林収穫	昭和 35 年	1. 32	2128 ほ 1、ほ 2	
	朝日出山高齡人工林成長及び遺伝子保存	昭和 38 年	3. 04	2203 に	旧藩造林の成長量を調査、研究するとともに優良遺伝子の保存を図る。
	野川山高齡人工林成長及び遺伝子保存	昭和 38 年	4. 16	1027 へ 1、へ 2	
	西の川山ヒノキ天然更新	昭和 52 年	6. 72	34 ろ	ヒノキ天然更新技術の確立と林分構成状態、成長過程等の調査研究を行う。
			1. 40	34 と	
	普当山針広混交林誘導	平成 1 年	3. 16	1112 ほ	人工林を活力ある針広混交林へ誘導するための調査研究を行う。
	和田山ヤナセスギ天然更新	平成 16 年	7. 55	2098 い	天然スギの純林へ誘導を図るための天然更新技術の確立を図る。
	第 2 世代スギ精英樹 (矢筈谷山)	平成 25 年	0. 59	1132 い 61	スギエリートツリー(第 2 世代精英樹)の人工交配により生産した苗木を植栽し、エリートツリーの性能を評価するとともに第 3 世代精英樹の選抜を行う。

種 類	名 称	設 定 年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
試 験 地	第 2 世代スギ精英樹 (谷山北平山)	平成 27 年	0.36	2092 い 1 内	スギエリートツリー(第 2 世代精英樹)の人工交配により生産した苗木を植栽し、エリートツリーの性能を評価するとともに第 3 世代精英樹の選抜を行う。
	安田川山トガサワラ更新	平成 27 年	0.08	2227 へ内	紀伊半島及び高知県にしか天然分布がない絶滅危惧種(環境省レッドリスト 2020 (VU))であるトガサワラの将来に備え個体群を維持する管理手法の確立を図る。
	大戸山・雁巻山天然スギ成長動態観測	平成 26 年	1.40	2030 い 1 内	天然スギの長期的な森林動態の観測を行う。
遺 伝 子 保 存 林		昭和 41 年	2.15	2089 に	現存林木の優良遺伝子群を保存し、種子補給源として活用する。
		昭和 42 年	2.83	2089 ほ	
		昭和 43 年	2.50	2222 ほ	
		昭和 43 年	1.69	1028 ち	
		昭和 59 年	2.67	2020 と	
		昭和 59 年	3.09	2053 よ	
		昭和 59 年	3.04	2106 は 1	
		昭和 60 年	1.85	2106 は 2	
		昭和 60 年	0.32	2106 は 3	
特 別 母 樹 林	雁巻山スギ	昭和 47 年	20.26	2031 ろ	林業種苗法に基づき指定、優良な種穂の採取に適する樹木集団を優良遺伝子群として育成し、種穂の採取源とする。
	千本山スギ	昭和 47 年	33.22	2067 に、ぬ	
			48.61	2114 い、へ	

種類	名 称	設 定 年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
次代 検 定 林		昭和 45 年	6.38	1136 に	林木育種により育成された 精英樹系統種苗の遺伝的特 性を検定するとともに、当 該種苗の地域環境に対する 適応性を明らかにして、そ の実用化と育種事業の効率 化を図る。
		昭和 46 年 ～ 昭和 47 年	6.49	2227 ほ 1～ほ 5	
		昭和 50 年	1.73	2015 ほ	
		昭和 51 年	1.55	9 と	
		昭和 62 年	0.69	8 ぬ	
		昭和 63 年	0.53	2120 ち 1	
		平成 2 年	1.52	1005 わ 2	
		平成 3 年	0.99	2095 ほ内	
		平成 13 年	0.70	1016 に 11	
展 示 林	影地山天然林	昭和 48 年	57.42	2046 い、ろ	天然更新。
	宝蔵山産地別	昭和 10 年	0.14	2117 ろ	ヤナセスギ外、スギの産地 別。
モ デ ル 林	水土保持長期育成モデル林	平成 12 年	39.76	30 ろ	公益的機能重視の森林施業 を P R するため、長伐期施 業を推進するモデル林とし て設定。

(2) 文化財資源備蓄林

名称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
文化財資源備蓄林	87.21	1 は 2 2 ほ 1029 よ	文化的価値の高い木造建築物の修復、伝 統的建築様式の伝承等への寄与を目指 し、大径木の育成・供給を目的とする施業 に取り組む。

(3) フィールドの提供

対象地（林小班）	設定の目的	備 考
2032 い、い2	ふれあいの森 「北栃谷桑ノ木山ふれあいの森」	実施主体：馬路村 協定面積：14.92ha
1162 に	多様な活動の森 「佐喜浜躍動天然スギ協定の森」	実施主体：室戸市 協定面積：18.29ha
1033 い	社会貢献の森 「千ヶ谷森づくり事業」	実施主体：(一社)四国林業土木協会 (しこくの森づくりに参加する会) 協定面積：1.52ha
2019 ろ、2023 は、2034 と、 2048 い1、2051 い、 2052 い1・り、2093 は、 2102 い・ほ1・ち・り2、 2220 ん、2244 は、2227 ろ、 2240 ろ	社会貢献の森 「J パワー地域共生の森」	実施主体：電源開発株式会社 西日本支店 高松事務所 協定面積：100.74ha

(4) 森林共同施業団地

名 称	対象地(林小班)		面積 (ha)	連携した施業の 内容	備考
北川村大谷 地区施業モ デル団地森 林施業実施 協定	民	カミキタダニ山外 6	171.61	間伐、 作業道開設 等	
	国	平瀬山国有林 2002 林班 大谷鹿伏山国有林 2003 林班 大谷受領山国有林 2004 林班	252.97		
北川村島・久 江の上・平鍋 地区施業モ デル団地森 林施業実施 協定	民	ヒノジャマ外 6	363.08	間伐、 作業道開設 等	
	国	西谷山国有林 1008、1009、 1012 林班 揚ヶ谷続山国有林 1010 林班 大段徳ヶ谷国有林 2075、2076 林班 北川村官行造林 3、4 林班	498.95		
奈半利町須 川・室戸市羽 根地区森林 整備推進協 定	民	郷分生産森林組合林 (14 林班外 2) 藤村製絲株式会社社有林 国立研究開発法人森林研究・整備機 構森林整備センター高知水源林整備 事務所分収造林契約地 一般社団法人高知県森林整備公社井 ノ谷西畝山団地	880.79	間伐、 作業道開設 等	
	国	須川山国有林 1014～1020 林班 奈半利村官行造林 2、3 林班	601.74		

(5) その他

森林空間利用タイプのうち、レクリエーションの森等を除く区域の施業方法

位置(林小班)	面積(ha)	施業方法
2107 ろ	14.57	育成単層林施業
2054 ろ、2055 は、2062 へ、2066 へ、2067 と、り、 2068 ろ、2069 ろ、2070 へ、2099 に、2116 た、つ、2117 は	78.81	育成複層林施業
2056 に2、2061 は、2065 に、2068 た、2069 に、2098 に、 2115 へ、2116 ち、り、ぬ、れ、そ、2118 ろ、2131 ち、り	67.02	天然生林施業

注：レクリエーションの森等とは、レクリエーションの森、ふれあいの森等協定の森林、施業指標林、試験地等のことである。